

<表紙>

令和8年度鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程
第1次募集 入学試験問題（兼 解答用紙）

令和7年9月3日（水）

試験科目：小論文

注 意 事 項

1. 「解答始め」の合図があるまでこの問題用紙（兼 解答用紙）は開かないこと。
2. この問題用紙（兼 解答用紙）は、表紙を含めて3ページである。
3. 「解答始め」の合図があったら、まず、問題用紙（兼 解答用紙）の枚数が合っているか確認し、もし数が合わない場合は手を高く挙げ申し出ること。
次に、受験番号及び氏名を必ず表紙以外のすべての問題用紙（兼 解答用紙）の指定された箇所に記入してから、解答を始めること。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。

受験番号 _____ 氏名 _____

問題 令和5年版の厚生労働白書によると「今後、要介護認定率や認知症の発生率等が高い75歳以上の高齢者の増加に伴い、医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ高齢者の増加が見込まれることから、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築とその連携がますます必要となる。」と述べられている。以下の設問に答えなさい。

（出典：令和5年版 厚生労働白書 「つながり・支え合いのある地域共生社会」 315頁）

問1. 今後、高齢者が持つと見込まれる在宅医療ニーズと在宅介護ニーズについて、それぞれ簡条書きで3点挙げ、そのニーズを挙げた理由もそれぞれ説明しなさい（解答は、2/3頁内のみに記載すること）。

問1.：出題意図

- ・高齢者の在宅医療ニーズと在宅介護ニーズについて、それぞれの特徴や必要性を理解しているかを問う。
- ・単なる知識ではなく、根拠や理由をもとにニーズを論理的に説明する力を問う。
- ・在宅医療と在宅介護のニーズを考えるに当たり高齢者支援に必要な視点を持っているかを問う。

受験番号 _____ 氏 名 _____

問2. 問1のニーズを踏まえ、在宅医療と在宅介護の連携について、地域社会で具体的にどのような対策を提案することができるか説明しなさい（解答は、3/3頁内のみに記載すること）。

問2.：出題意図

- ・高齢者の在宅医療と在宅介護のニーズを踏まえ、地域社会で具体的に実施できる連携策についての知識や考え方を問う。
- ・医療と介護の関係者および行政などが協力して支援体制を整えるために必要な工夫や方法を理解しているかを問う。
- ・地域社会における医療と介護の関係者および行政などの役割や連携の重要性について、自分の考えを整理して説明できるかを問う。

点 数

(100点満点)